

アカデミー HABANERA

フランスで開催されている「アカデミー・ハバネラ」
待望の日本開催決定！

in JAPAN



Habanera



Blue Aurora

©ノザワヒロミチ (CAPSULEOFFICE)



Christian Wirth



Sylvain Malézieux



Fabrizio Mancuso



Gilles Tressos



平野公崇



田中拓也



西本 淳



大石将紀

8つの国際コンクール優勝歴を誇る世界屈指のサクソフォン・カルテット“ハバネラ サクソフォン・カルテット”と“ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット” 2つのカルテットによる室内楽講習会を開催！

毎夏、フランス中西部の地方都市ボワティエにて開催されている「アカデミー・ハバネラ」が日本にて開催されます。ハバネラ サクソフォン・カルテットのメンバーとブルーオーロラ サクソフォン・カルテットのメンバーによる、更なる技術の向上と表現の幅を広げるべく日本でもアカデミーを開催。内容は、2回のカルテット・レッスンと各パートごとに分かれての特別レッスンの合計3回。「カルテット・レッスン + パート・レッスン」。それぞれ異なるカルテットに指導が受けられるため、ひとつのカルテット・指導陣に見ていただくのとはまた違って、多角的な視点から自分らしい演奏を追求していける良い機会になります。併せて、各パートの指導陣から専門的な指導を受けることが出来る2日間。新たな自分の可能性をぜひ、発掘してください。

- 日 程 2015年10月23日(金)~25日(日)
- 会 場 青葉区民文化センター フィリアホール 東急田園都市線・青葉台駅下車徒歩3分(青葉台東急スクエアSouth-1本館5階)
- 編 成 サクソフォン・カルテット(ソプラノ、アルト、テナー、バリトン、または2アルト、テナー、バリトン)
- 募集団体数 10組(先着順)
- 内 容 2つのそれぞれのカルテットによるレッスンと各パートごとに別れての特別レッスンの合計3回のレッスン。最後には受講生による発表演奏会を行います。
- スケジュール
 - 10月23日 夕方 受付、ハバネラ サクソフォン・カルテット リサイタルを鑑賞
 - 10月24日 午前 どちらかのカルテットによるレッスン受講①
 - 午後 どちらかのカルテットによるレッスン受講②
 - 夜 ハバネラ&ブルーオーロラ八重奏コンサート鑑賞
 - 10月25日 午前 各パートごとに分かれての特別レッスン受講
 - 午後 受講生による発表演奏会、閉会
- 受講料 一人15,000円(2つのコンサートの入場料含む。宿泊費、会場までの交通費、食事等は含みません)
※宿泊場所等はご自身での手配をお願いいたします
- 募集開始 2015年8月3日(月)から定員になり次第締め切り(メール受付は午前0時より開始)
- お申し込み・お問い合わせ 〒231-0011 横浜市中区太田町4-46
野中貿易株式会社 開発営業部 担当: 高尾
「アカデミー HABANERA in JAPAN」係
TEL 045-651-3393(受付時間: 月~金 10:00~17:00)
FAX 045-211-2444 E-MAIL kazutaka.takao@nonaka.com
- 主 催 アカデミー HABANERA in JAPAN 実行委員会
- 共 催 青葉区民文化センター フィリアホール
- 協 力 野中貿易株式会社、株式会社ノナカ

参加者募集!

※上記内容は諸事情により変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

SPEDIDAM
les droits des artistes-interprètes

ハバネラ サクソフォン・カルテット

- Christian Wirth クリスチャン・ヴィルトウ - *Soprano saxophone* -
- Sylvain Malézieux スイルヴァン・マレズュー - *Alto saxophone* -
- Fabrizio Mancuso ファブリツィオ・マンクーゾ - *Tenor saxophone* -
- Gilles Tressos ジル・トレソス - *Baritone saxophone* -

ハバネラ サクソフォン・カルテットはサクソフォン・カルテットの持つ既存のイメージと音色を刷新しようというプロジェクトのもと1993年に結成された。それ以来現代音楽の世界初演から個性豊かな編曲作品、ワールドミュージックから即興演奏までとそれらの多様な音楽と共に様々な舞台を渡り歩いてきた。メンバー全員がパリ国立高等音楽院サクソフォン科において学び、室内楽科を一等賞を得て卒業。同音楽院第三課程に進んだ後は大阪国際室内楽コンクールをはじめ、ボルドー、デュッセルドルフなどで開催された国際コンクールで次々と優勝。今までに8つの国際コンクール優勝歴を誇る。

ハバネラ サクソフォン・カルテットは、結成以来芸術的な出会いの赴くままに道を歩んできた。新曲の初演、特に現代音楽において、G.リグティ、S.ライヒ、棚田文紀、F.レヴィー、A.マルケアス、P.ルルー、B.マントヴァーニなどの数々の作曲家たちの新作初演を今までに行った。2015年はペーテル・エトヴェシュの「Lectures différentes (様々な解釈)」世界初演、またストラスブル交響楽团委嘱によるフローラン・モッチ（第13回武満徹作曲賞受賞）の「Diptyque - サクソフォンカルテットとオーケストラのための」の世界初演が予定されている。

現代音楽作品を俯瞰したアルバム「ミステリアス・モーニング」、ルイ・スクラヴィスとレコーディングした「L'engrenage」、グラズノフ、グリーグ、ドヴォルザークの音楽を収録したアルバムまで、それらの多様性豊かなアルバムは名だたる音楽専門誌によって特別に紹介され賞賛されてきた。最新のアルバムはラヴェル、ショーン、ドビュッシーなどのフランス人作曲家の大家の作品を集めたもので2015年7月にフランス・ストラスブルにおいてのワールド・サクソフォンコンGRESSにて発表された。

ハバネラ サクソフォン・カルテットの活動は年々広がりを見せている。パリ市立劇場、ナント熱狂の日音楽祭、IRCAM、ラジオフランス、パリアカデミーなどのフランス各地、また日本、中国、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ諸国等今日では世界中のいたるところで彼らの演奏が聴かれるようになった。2015、16年のシーズンは日本、台湾のアジアツアーのほかアメリカツアーも行い、リサイタル、また作曲家のアレクサンドロス・マルケアスとビデオアーティスト、ピエール・ヌーベル氏によるマルチメディアスペクタクル「Amériques」の上演、またアコーディオン奏者のリチャード・ガリアーノとコンサートを予定している。

ハバネラ サクソフォン・カルテットはセルマーサクソフォン、セルマーマウスピースを演奏している。またオート＝ノルマンディー地域圏、文化省州文化局より助成を受け活動している。

ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

“サクソ界の革命児”平野公崇が、同じ音楽的志向を分かち合える仲間であり、ソロ・トップ・プレイヤーとしてもそれぞれ活躍する大石将紀、西本淳、田中拓也と共に結成したサクソ四重奏団。グループ名は武満徹の作品『一柳慧のためのブルー・オーロラ』に由来する。2011年、デビューCD「ファースト・ブルー」を、翌年にはパッサ作品を集めたCD第2弾「Blue Bach」をリリース。結成以来各地で公演を行い、クラシック作品はもとより、ジャズ・テイスト、即興等を取り入れた多彩なプログラムで会場を沸かせ、新たなファンを獲得している。今秋に最新CDをリリース予定。

■ 平野公崇 Masataka Hirano - *Soprano saxophone* - 東京藝術大学在学中、第7回日本管打楽器コンクールで第1位。1992年に同大学を卒業後パリ国立高等音楽院に入学、サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を最優秀の成績で卒業。同音楽院在学中にジャン＝マリ・ロンデックス国際サクソフォンコンクールを制して日本人サクソフォニスト初の国際コンクール優勝者となる。日本では2000年、現代作品と即興のみで構成された異色のアルバム「ミレニアム」で鮮烈なデビューを果たす。読響、新日フィル、大フィル、札幌、広島等オーケストラとの共演多数。また、作曲家としても高い評価を受けている。日本管打楽器コンクール、大阪国際室内楽コンクール、全日本吹奏楽コンクール等の審査員を務める。洗足学園において日本初の即興演奏の授業を始め、現在は東京藝術大学でも同授業が開設されている。東京藝術大学、エリザベト音楽大学、東邦音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。フランスのギャブリエル国際大学およびアカデミー・ハバネラ講師。

■ 田中拓也 Takuya Tanaka - *Alto saxophone* - 15才よりサクソフォンを始める。第8回ジュニアサクソフォンコンクール第1位。第25回日本管打楽器コンクール第1位並びに特別大賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。優秀学生顕彰事業大賞受賞。東京藝術大学在学中アカンサス賞受賞。ソリストとして、梅田俊明指揮日本フィルハーモニー交響楽団、ジョルト・ナジ指揮芸大フィルハーモニーと共演。題名のない音楽会等、テレビや雑誌に登場。2011年、紀尾井ニューアーティスト・シリーズに出演。サクソフォンを佐々木雄二、原ひとみ、平野公崇、福岡和男、原博巳の各氏に、室内楽を中村均一、林田祐和の各氏に師事。都立芸術高校、東京藝術大学を経て、東京藝術大学修士課程修了。洗足学園音楽大学非常勤講師。

■ 西本 淳 Jun Nishimoto - *Tenor saxophone* - 1998年大阪音楽大学音楽学部器楽学科を首席で卒業。2000年同大学院音楽研究科管弦打研究室修士課程修了。2002年丹波の森国際音楽祭「シュペールティアードたんば2002」では音楽祭のシンボルアーティストとして参加。03年ノナカ・サクソフォン・コンクールにて、クラシック部門第1位を受賞。04年第8回松方ホール音楽賞・選考委員奨励賞を受賞。07年、兵庫県下での活動が評価され、平成18年度坂井時忠音楽賞を受賞。08年ジャン＝マリ・ロンデックス国際サクソフォンコンクールセミファイナリスト。現在は各地でソリストとして活動するほか、在阪オーケストラの客演奏者、コンクール審査等幅広く活動し、大阪音楽大学、相愛大学、武庫川女子大学、相愛高等学校講師として後進の指導にも力を注いでいる。

■ 大石将紀 Masanori Oishi - *Baritone saxophone* - 1999年東京藝術大学卒業。同年、同大学大学院修士課程に入学し、2001年に修了。2001年に渡仏しパリ国立高等音楽院に入学。02年から2年間文化庁派遣芸術家海外研修員として研鑽を積む。04年アムステルダム音楽院に短期留学。05年にパリ国立高等音楽院サクソフォン科、室内楽科を、06年には即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業。さらに05年よりパリ国立高等音楽院第3課程室内楽科(サクソフォン四重奏)に進み07年に修了。これまでに安田生命クオリティオブライフ文化財団、メイヤー財団などから助成を受ける。07年トキヨーワンダーサイト、08年には東京オペラシティ文化財団主催「B→C」に出演、また10年にはNHK BS クラシック倶楽部において「ガーデン・オブ・ラブ 大石将紀スタジオコンサート」として特集されるなど幅広く活動している。東邦音楽大学・大学院および洗足学園音楽大学非常勤講師。

アカデミー HABANERA in JAPAN 参加申込書

②フリガナ		
①代表者氏名		
③性別	④生年月日(西暦で)	⑤年齢
⑥〒		
⑦住所		
⑧ご連絡先 電話番号	携帯番号	email(PCからのメールがブロックされないアドレス)
⑨学校名または所属団体名		⑩一般・大学生・中学生 / 高校生・その他

ご記入後は下記返送先へ「郵送」・「FAX」もしくは①～⑩を「email」にてお送りください。

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町4-46 野中貿易株式会社 開発営業部 担当:高尾 「アカデミー HABANERA in JAPAN」係
TEL:045-651-3393 (受付時間:月～金 10:00～17:00) FAX:045-211-2444 MAIL: kazutaka.takao@nonaka.com